



総研大ニューズレター

第57号 2013.2 発行

●目次

【今月のトピックス】	「平成24年度総研大国際シンポジウム 開催 国際シンポジウム実施委員会」	
	「平成24年度 学融合研究事業・公開研究報告会 開催	総務課
	「生命共生体進化学専攻オープンキャンパス 開催	総務課
	「サイエンスカフェ 開催	総務課

【各種募集】

【イベント情報】

主なイベント予定	
2月5日～7日	宇宙科学専攻 アジア冬の学校
2月8日	統計科学専攻 学生研究発表会
2月9日	科学知の総合化 シンポジウム
3月3日～9日	国立遺伝学研究所 体験入学
3月6日	国立遺伝学研究所 見学会
3月20日	自然科学研究機構 シンポジウム
3月21日	長倉研究奨励賞 発表会
3月21日～22日	総研大 学術交流会
3月22日	長倉研究奨励賞 授与式
3月22日	学位記授与式

【今月のトピックス】

● 平成24年度総研大国際シンポジウムを開催



平成24年12月13日（木）～14日（金）、神奈川県葉山町の湘南国際村センターにおいて平成24年度総研大国際シンポジウム「知の循環社会ーグローバル融合社会における情報循環ネットワークの創成」が行われました。

総研大国際シンポジウムは、本学教員が主体となって先進的創造的な研究テーマについてディスカッションし新しい学問分野を開拓すること、学生の国際的リーダーシップ能力を育成すること等を目的に毎年開催されています。

今年度は、複合科学研究科情報学専攻が中心となり1泊2日の合宿形式で行い、科学技術分野と社会や産業・ビジネス分野の両側面から、「データ中心科学」や「ビッグデータ」、「サイバーフィジカル融合社会」に関する最先端の話題を取り上げました。現在、すべてのモノがインターネットに接続され、人間・社会の状態や行動のセンシングが可能となってきています。この結果、情報空間と現実世界が統合した「サイバーフィジカル融合社会(Cyber-Physical Integrated Society)」が形成されつつあります。この社会をより良いものにするには、現実世界の情報を情報空間に投影して分析し、その結果を人やモノにフィードバックすることで新たな価値を創り出す新たな学問分野が必要になります。



一方、科学のパラダイムも、「実験科学」や「理論科学」が主流であった時代から、コンピュータによる大規模で複雑な数値計算とシミュレーションを行う「計算科学」が誕生してきました。そして今、インターネットとWebの台頭は、科学的研究手法にさらなる変革をもたらしています。このようなネットワークを介して収集される大規模で複雑なビッグデータに基づいた実証的な科学的手法は「データ中心科学」と呼ばれています。

本シンポジウムでは、急速に普及するスマートフォンやSNS、多様なセンサから収集される多種多量のビッグデータの収集、分析、合成技術の研究開発やビッグデータ社会基盤の在り方について議論しました。あわせて、科学技術の研究開発を通じて、ビッグデータ等の利活用に資するデータサイエンティスト等の若手人材育成についても議論しました。

参加者は181名のほり、教員44名（本学教員39名、他大学教員5名）、学生38名（本学学生36名、他大学学生2名）、国立情報学研究所関係研究者23名、産業界・企業・行政（総務省、NICT、経産省、産総研）より37名など、多くの参加者を得て盛会となりました。また、参加者のうち51名が外国人であり、プログラムは全て英語で行われ、本学の留学生にとっても参加しやすいイベントとなりました。



13日（木）は「データ中心科学の俯瞰と実践」と題したセッションを行い、情報・システム研究機構 北川源四郎機構長、フライブルグ大学 ギュンター・ミュラー研究科長、野村総合研究所上級コンサルタント 安岡寛道氏、ゲーテ大学 カイ・ラネンバーグ教授にご講演頂きました。夜は懇親会に続いて学生や参加者のポスターセッションが行われました。本学学生の研究発表ポスターの発表を中心に、情報学専攻の研究員・学生によるデモンストレーションも行われました。産業技術総合研究所の研究発表ポスター、国立情報学研究所、本学の事業説明ポスターも展示され、夜遅くまで活発な議論が行われました。



14日(金)は「知の循環社会」「データ中心科学の最前線」「知の循環と社会」と題したセッションが行われ、ビッグデータを現実世界へ適用する最前線の技術の紹介や、異なる専門分野の研究者からそれぞれの分野でのビッグデータ利活用の歴史・現状についての講演が行われました。講演者は日本学術振興会 安西祐一郎理事長、IBM ワトソン研究所 スコット・シュナイダー博士、情報学専攻 北本朝展准教授、ヘルムート・ブレンディンガー教授、越前功准教授、ソフトバンクテレコム(株) 吉井英樹氏、本学前学長・小平桂一 JSPS ボン研究連絡センター長、高知医療再生機構 倉本秋機構長、統計科学専攻 椿広計教授、沖縄科学技術大学院大学 森田洋平副学長代理でした。幅広い分野の研究者・技術者による講演に、学生や若手研究者たちは最後まで熱心に耳を傾けていました。

最後に、実施委員会の皆様、情報学専攻をはじめ学内及び学外各方面の方々から多大なご支援を頂き、有意義なシンポジウムを開催できましたことを感謝いたします。

【文責 平成24年度総合研究大学院大学国際シンポジウム実施委員会
情報学専攻 教授 曾根原 登、准教授 佐藤 寛子】

● 平成24年度 学融合研究事業・公開研究報告会を開催

1月24日(木)、25日(金)、学融合推進センター1階ホールにおいて、学融合研究事業・公開研究報告会が開催されました。

この報告会は、学融合推進センターが学融合研究事業の研究費を助成している各研究課題の進捗状況や今後の展望に関し、口頭及びポスター発表の形式で成果を公表することを目的としているものです。

各基盤機関及び葉山キャンパスから60名を超える研究者の方が集まり、多分野の研究報告がなされ、質疑応答も活発に行われました。

詳しい内容につきましては、おって、学融合推進センターニュースレターに掲載する予定です。



【文責 総務課】

● 生命共生体進化学専攻オープンキャンパスを開催

生命共生体進化学専攻は、1月11日（金）及び12日（土）の2日間にわたり葉山キャンパスにおいて、オープンキャンパスを開催いたしました。本研究科では毎年2回オープンキャンパスを開催しており、今回は8名の参加がありました。

平田学長補佐による「総研大と全学事業の紹介」、蟻川専攻長の「生命共生体進化学専攻の概要説明」から始まり、各分野の研究内容紹介やラボ見学ツアー、情報交換会が行われました。参加者からは「ラボの雰囲気が実際によくわかり良かった」「教員の話を通じて直接聞ける機会は貴重だった」「大学院生の方々といろいろと話ができ良かった」等の感想が聞かれ、大変充実した開催となりました。

【プログラム概要】

1日目

- ・総研大と全学事業の紹介
- ・生命共生体進化学専攻の概要説明
- ・カリキュラム・入試に関する説明
- ・研究内容紹介
- ・在学生の紹介とメッセージ
- ・ポスター説明&情報交換会

2日目

- ・ラボ見学ツアー



【文責 総務課】

● サイエンスカフェ『ハダカデバネズミをめぐる進化の謎解き』を開催

1月22日（火）、葉山町内のレストラン「夕風亭」を会場に総研大主催のサイエンスカフェを開催しました。今回は葉山町や逗子市といった地域の方々を中心に、10代から90代まで幅広い年代の方々19名の参加がありました。

講師として、先導科学研究科の沓掛展之助教を迎え、「ハダカデバネズミをめぐる進化の謎解き」と題して、2時間の講義を行いました。

ハダカデバネズミという動物は一般的にはあまり馴染みのない動物だと思いますが、東アフリカの乾燥地帯、地下のトンネルに群れて暮らし、体毛を持たず、前歯が出て、視力は退化しています。アリやハチのように、ワーカーが女王のために働く社会を作ります。ハダカデバネズミの進化にまつわる謎と、ハダカデバネズミをめぐる研究者の右往左往を紹介することによって、動物学の面白さを大変わかりやすく説明していただきました。ハダカデバネズミは癌にならず、長生きをするという説明に、参加者は大変興味を持ち、多くの質問がなされていました。

このような基礎研究を進めることにより、将来的に医療や産業などに活用できる応用研究に繋がっているという話を聞き、また次回のサイエンスカフェに参加したいというアンケート結果を得ました。



【文責：総務課】

【各種募集】現在公募中の情報

事 項	応募期間	提 出 先
国立天文台滞在型研究員	随時 (滞在希望初日の前月 1 日まで)	国立天文台研究支援係
http://jouhoukougai.nao.ac.jp/kouryuu/koubo/h24taizai.html		
平成 25 年度共同開発研究等	平成 25 年 1 月 31 日(木)必着 (共同開発研究・研究集会第 1 回・共同研究) 平成 25 年 6 月 28 日(金)必着 (研究集会第 2 回)	
http://jouhoukougai.nao.ac.jp/kouryuu/koubo/h25kyodo.html		
学融合推進センター 研究論文助成	随時	総合研究大学院大学 学融合推進センター 事務係
http://cpis.soken.ac.jp/htdocs/?page_id=68		

【イベント情報】

● 総研大の行事

2 月

日程	時間	行事名	場所
5 日(火) -7 日(木)		宇宙科学専攻 アジア冬の学校	宇宙科学研究所
http://www.isas.jaxa.jp/sokendai/winter_school/indexJ.html			

8日(金)	10:30-17:30 予定	統計科学専攻 学生研究発表会	統計数理研究所 3階 セミナー室1 (D305)
	http://www.ism.ac.jp/senkou/		
9日(土)	13:00-18:00	科学知の総合化 シンポジウム	学術総合センター

3月

日程	時間	行事名	場所
3日(日) -9日(土)		国立遺伝学研究所 体験入学	遺伝研
	http://www.nig.ac.jp/jimu/soken/html/nyugaku/taiken/taiken.html		
6日(水)		国立遺伝学研究所 見学会	遺伝研
	http://www.nig.ac.jp/jimu/soken/html/nyugaku/taiken/taiken.html#tour		
20日(水)		自然科学研究機構 シンポジウム	学術総合センター
21日(木)		長倉研究奨励賞 発表会	葉山キャンパス
21日(木) -22(金)		総研大 学術交流会	葉山キャンパス
22日(金)		長倉研究奨励賞 授与式	葉山キャンパス
22日(金)		学位記授与式	葉山キャンパス
30日(土)	9:30-18:00	総研大 学融合プロジェクト シンポジウム 「情報を考える」	東京カンファレンス センター品川

4月

日程	時間	行事名	場所
8日(月)		入学式	葉山キャンパス
8日(月)		総合研究大学院大学 学長賞ポスター発表 会・授与式	葉山キャンパス
8日(月) -9日(火)		学生セミナー	葉山キャンパス

● 基盤機関の行事

2月

日程	時間	行事名	場所
2日(土)	13:30-15:30	第17回歴博映画の会 「水俣病を考えるー土本典昭の作品からー」	国立歴史民俗博物館
2日(土) -3日(日)	14:30-15:30	国際研究フォーラム「在外資料の調査研究Ⅲ ーバルト海周辺地域の日本コレクション」	国立民族学博物館
3日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロンー 研究者と話そう 第286回 「ヨーロッパの生業と1年」	国立民族学博物館

9日(土)	12:00-15:30	点字教室	国立民族学博物館 エントランスホール (本館 1F)
9日(土)	13:00-15:00	第350回歴博講演会 「出土漆に見る日本の歴史」	国立歴史民俗博物館
9日(土)	14:30-16:00	【やっぱりヨーロッパ春のみんぱくフォーラム2013】パンセミナー 「東欧のパン 礼拝ではワインとともに」	国立民族学博物館
10日(日)	9:00-18:30	国際シンポジウム 「『樹について考える』シンポジウム」	国立民族学博物館
10日(日)	14:30-15:30	みんぱくウィークエンド・サロンー 研究者と話そう 第287回 「オセアニアの紛争」	国立民族学博物館
10日(日) -11日(月)		VERA 小笠原観測局 スターアイランド2012	VERA 小笠原観測局 他 主催:国立天文台
	http://www.miz.nao.ac.jp/content/news/event/20121117-215		
12日(火)	14:00-16:00 (開場 13:40)	第264回日文研フォーラム「中日文化異同論の推移——近代以降の日本と欧米の学界を中心に」	ハートピア京都3階大会議室
	http://www.nichibun.ac.jp/event/index.html		
2月13日(水) -3月31日(日)	9:30-16:30	総合展示 和宮ゆかりの雛かざり	国立歴史民俗博物館
15日(金)	10:00-18:00	国際シンポジウム「モンゴル国における鉱業開発の諸問題—歴史的視点から」	国立民族学博物館
16日(日)	14:30-15:30	【やっぱりヨーロッパ春のみんぱくフォーラム2013】 第417回みんぱくゼミナール 「変わるヨーロッパの言語地図—多『言語』社会から『多言語社会』へ」	国立民族学博物館
17日(日)	14:30-15:30	みんぱくウィークエンド・サロンー 研究者と話そう 第288回 「ベルリンで既製服が生まれた頃」	国立民族学博物館
23日(土)	13:30-15:30	第167回くらしの植物苑観察会「風土記に見える植物」	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
23日(土)	未定	国際シンポジウム「布を使う人、布につつまれるからだ」	国立民族学博物館
23日(土)	14:30-16:00	【やっぱりヨーロッパ春のみんぱくフォーラム2013】パンセミナー 「ドイツのパン 地方の特徴、そして伝説」	国立民族学博物館
24日(日)	14:30-15:30	みんぱくウィークエンド・サロンー 研究者と話そう 第289回 「中央アジアの春の祝祭ナウルズ」	国立民族学博物館
26日(火)	18:30-19:45	国立情報学研究所 市民講座「故障に耐えるコンピュータ —壊れても使えるシステム作りとは?—」	学術総合センター
	http://www.nii.ac.jp/event/shimin/		

28日(木)	14:00-16:30	日文研伝統文化芸術総合研究プロジェクト 公演会 『忠臣蔵』の世界	国際日本文化研究センター内講堂(日文研ホール)
	http://www.nichibun.ac.jp/event/index.html		

3月

日程	時間	行事名	場所
3日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン— 研究者と話そう 第290回 「客家建築の世界」	国立民族学博物館
9日(土)	13:00-15:00	第351回歴博講演会「人と動物の考古学」	国立歴史民俗博物館
9日(土)	14:30-16:00	【やっぱりヨーロッパ春のみんなくフォーラム2013】 パンセミナー「イタリアの日常生活とパン」	国立民族学博物館
14日(木) -6月11日(火)	10:00-17:00	特別展「マダガスカル 霧の森の暮らし」	国立民族学博物館 特別展示館
16日(土)	10:30-16:30	【特別展「マダガスカル霧の森の暮らし」関連】 ワークショップ「ザフィマニリの腰かけづくりに挑戦！」(イサチーム・1回目)	国立民族学博物館
16日(土)	13:30-15:00	【やっぱりヨーロッパ春のみんなくフォーラム2013】 第419回みんなくゼミナール 「家族の今—イタリアの事例から考える」	国立民族学博物館
17日(日)	13:30-15:00	国際シンポジウム 「文化を展示すること—日本とヨーロッパの遠近法を考える—」	国立民族学博物館
17日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン— 研究者と話そう 第291回 「学校教育の中の八重山芸能」	国立民族学博物館
17日(日)	15:00-15:30	【特別展「マダガスカル霧の森の暮らし」関連】 ワークショップ「ザフィマニリの敷物を編もう」 『暮らしに生きる編みもの』	国立民族学博物館
19日(火) -9月23日(月)	9:30-17:00	第4展示室 特集展示 人間文化研究機構連携展示「東日本大震災と気仙沼の生活文化」	国立歴史民俗博物館
21日(木)	8:00-9:50	公開ワークショップ「グローバル支援の人類学—市民社会間で互恵的紐帯をいかに形成するか」 主催:国立民族学博物館	Marriott City Center Hotel(米国コロラド州デンバー市)
22日(金)	10:00	本館展示新構築 日本の文化のうち「祭りと芸能」と「日々の暮らし」オープン	国立民族学博物館
22日(金)	18:30-20:45	学術講演会「なんだ?日本の文化って—芸能からMANGAまで」	オーバルホール
23日(土)	10:30-16:30	【特別展「マダガスカル霧の森の暮らし」関連】 ワークショップ「ザフィマニリの腰かけづくりに挑戦！」(イサチーム・2回目)	国立民族学博物館

23日(土)	13:30-15:30	第168回くらしの植物苑観察会「春を告げる華花-祝いと祈りの草木たち-」	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
23日(土)	13:30-16:30	みんなく映画会「人生、ここにあり！」	国立民族学博物館
24日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン— 研究者と話そう 第292回 「エチオピア、音楽職能の世界」	国立民族学博物館
24日(日)	未定	国際シンポジウム 「博物館は悲慘な記憶をどう展示するか」	国立民族学博物館
30日(土)	10:30-16:30	【特別展「マダガスカル霧の森のくらし」関連】 ワークショップ「ザフィマニリの腰かけづくりに 挑戦！」(イサチーム・3回目)	国立民族学博物館
31日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン— 研究者と話そう 第293回 「韓国の多民族化はいま」(仮称)	国立民族学博物館

4月

日程	時間	行事名	場所
1日(月)	15:00-15:30	【特別展「マダガスカル霧の森のくらし」関連】 ワークショップ「ザフィマニリの敷物を編もう」 『ザフィマニリ式道具の使いかた』	国立民族学博物館
6日(土)	10:30-16:30	【特別展「マダガスカル霧の森のくらし」関連】 ワークショップ「ザフィマニリの腰かけづくりに 挑戦！」(イサチーム・4回目)	国立民族学博物館
7日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン— 研究者と話そう 第293回 「ザフィマニリの編みもの」	国立民族学博物館
9日(火)	10:30-16:30	【特別展「マダガスカル霧の森のくらし」関連】 ワークショップ「ザフィマニリの腰かけづくりに 挑戦！」(ルアチーム・1回目)	国立民族学博物館
13日(土)	10:30-16:30	【特別展「マダガスカル霧の森のくらし」関連】 ワークショップ「ザフィマニリの腰かけづくりに 挑戦！」(イサチーム・5回目)	国立民族学博物館
13日(土)	13:00-15:00	第352回歴博講演会「民俗研究とアイヌ・沖 縄の文化」	国立歴史民俗博物館
14日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン— 研究者と話そう 第294回 「マダガスカルにおける狩猟採集民のくらし」	国立民族学博物館
15日(月)	15:00-15:30	【特別展「マダガスカル霧の森のくらし」関連】 ワークショップ「ザフィマニリの敷物を編もう」 『映像でみせるザフィマニリ』	国立民族学博物館
4月16日(火) -5月6日(月)	9:30-16:30	伝統の桜草	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
16日(火)	10:30-16:30	【特別展「マダガスカル霧の森のくらし」関連】 ワークショップ「ザフィマニリの腰かけづくりに 挑戦！」(ルアチーム・2回目)	国立民族学博物館

20日(土)	14:30-15:30	【特別展「マダガスカル霧の森の暮らし」関連】 第420回みんなくゼミナール 「マダガスカル 霧の森のものづくり」	国立民族学博物館
21日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロンー 研究者と話そう 第295回 「マダガスカルの言語文化のルーツと変化」	国立民族学博物館
23日(火)	10:30-16:30	【特別展「マダガスカル霧の森の暮らし」関連】 ワークショップ「ザフィマニリの腰かけづくりに 挑戦！」(ルアチーム・3回目)	国立民族学博物館
27日(土)	10:30-16:30	【特別展「マダガスカル霧の森の暮らし」関連】 ワークショップ「ザフィマニリの腰かけづくりに 挑戦！」(イサチーム・6回目)	国立民族学博物館
27日(土)	13:30-15:30	第169回暮らしの植物苑観察会 「武士が育てた桜草」	国立歴史民俗博物館 暮らしの植物苑
28日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロンー 研究者と話そう 第296回 「マダガスカルの織機と織物」	国立民族学博物館
30日(火)	10:30-16:30	【特別展「マダガスカル霧の森の暮らし」関連】 ワークショップ「ザフィマニリの腰かけづくりに 挑戦！」(ルアチーム・4回目)	国立民族学博物館

【教員の受賞情報等】

複合化学研究科
情報学専攻

○鯉淵道紘 准教授ら

18th Asia and South Pacific Design Automation Conference (ASP-DAC)
において、Best Paper Awards 受賞

○河原林健一 教授

日本学士院学術奨励賞 受賞

生命科学研究科
遺伝学専攻

○小林武彦教授

第29回井上学術賞 受賞

【編集後記】

総研大ニューズレター57号をお届けします。

1月14日(月)の大雪は、ここ葉山でも大変な交通の乱れを招きました。14日は成人の日でお休みでしたが、15日(火)は、積もった雪のため電車、バスが大幅に遅れ、2時間以上も出勤が遅れる方もおられました。

逗子から総研大までの間に滝の坂というバス停がありますが、名称のとおりちょっとした坂道となっています。後輪駆動車がここでスリップして動けなくなるため、長い車の列ができることとなります。四輪駆動車はさすがに悪路に強く、ノーマルタイヤでもあの程度の雪なら苦もなく走れるようです。

年度末が見えてきました。教育研究、経営も追い込みの時期ですし、学生さんも大変忙しくなってくると思います。皆さま、インフルエンザなどに注意して、厳しい年度末を乗り切ってくださいと思います。



◎各専攻で教員や学生がメディアに出演が決まっている場合や、発表や表彰等があった際にはご連絡ください。またメディア等に出演される場合は、可能な限り「総合研究大学院大学」と表記していただけますようご協力お願いします。

発行 2013年2月6日

編集



国立大学法人

総合研究大学院大学

THE GRADUATE UNIVERSITY FOR ADVANCED STUDIES

広報委員会

神奈川県三浦郡葉山町(湘南国際村)

総務課(担当)

TEL 046-858-1500/FAX 046-858-1542

©2013 SOKENDAI